

第3章 基本政策③ やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】

第5節 河川・水路

施策2 河川・水路環境の整備

基本計画  
掲載頁

100～101

施策の 達成状況	A	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	水辺に親しめる環境づくりとして、柳瀬川及び黒目川について定期除草作業を行い、適正に遊歩道の維持管理を行った。また、野火止水水については定期的にパトロールを行い、景観に配慮した暮らしに身近な水辺空間の維持管理を行った。
			課題	水辺空間の整備には恒常的に取り組んでいく必要がある。
今後の 方向性	I	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	引き続き、柳瀬川及び黒目川における遊歩道や、野火止水水の適正な維持管理に努めていく。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
開発行為等における雨水貯留・浸透施設設置率	0%	100%					100%	A	道路河川課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

## 主な施策展開の進捗状況

(1) 水辺に親しめる環境づくり	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 柳瀬川、黒目川について、整備の完了した遊歩道の適切な維持管理を進めるとともに、ウォーキングやサイクリング、自然観察など、市民が気軽に親しめるレクリエーションの場として積極的な活用を図ります。	A（順調）	定期除草作業を行い、適正に遊歩道の維持管理を行った。	インフラ整備部	道路河川課
○ 野火止用水について、護岸の補修を適宜行い、暮らしに身近な水辺空間としての活用を図ります。	A（順調）	定期的にパトロールを行い、景観に配慮した修繕を随時行った。	インフラ整備部	道路河川課
○ 市民との協働により、清掃活動や啓発活動を進め、快適な水辺空間を創出します。	A（順調）	ボランティア団体と連携を図り、水辺空間の維持管理を行った。	インフラ整備部	道路河川課